

小田急多摩線延伸ニュース

～第19号～

COME TRUE

COME TRUE とは、「実現する、本当になる」という意味を持つ言葉です

令和4年3月
発行／小田急多摩線延伸促進協議会
(平成14年9月発足)

これからの小田急多摩線延伸協議会について



平成14年の設立当初から本協議会の会長を務めていただいた成川猛氏が、令和3年11月30日付をもって会長を辞任されました。

長年にわたり、小田急多摩線延伸の普及啓発や関係機関への要望活動など、様々な活動にご尽力いただきました。

今回は、成川前会長へ19年間の思い出やこれからの協議会へのメッセージなど、インタビューさせていただきました。

なお、後任につきましては、次の総会までの間、副会長の竹田 幹夫 (相模原市自治会連合会会長 兼 星が丘地区自治会連合会会長) が会長代行を務めますので、引き続き、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

振り返れば、あっという間の19年間でした。



この19年間は、私にとってかけがえないものであり、小田急多摩線延伸の実現に向けて、たくさんの方々に出会い、支えて頂きました。

この場を借りて、皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

Q1 本協議会が設立した際のエピソードはありますか。

⇒ 相模総合補給廠を横切るこの路線は、当時、無理だという意見も耳にしましたが、商店街の活動などを通じ、相模原市の全体像が分かってきた自分としては、孫の代に開通すればという思いで立ち上げました。

相模原市には鉄道の延伸計画がいくつかありました。一昔前では、渋谷～上溝～愛川町の相武鉄道の計画^(※)です。今回はなんとしても小田急多摩線延伸計画を成功させたい思いがありました。

※相武鉄道計画とは・・・

大正時代後期から昭和初期にかけて、東京・渋谷から現在の相模原市中央区上溝を経て愛川町に向けて計画されたものの実現しなかった。

Q2 19年間を通して、一番印象に残っている取組はなんですか。

⇒ 平成25年度に実施した「延伸の早期実現に関する署名活動」です。

平成28年度の交通政策審議会答申の位置付

けを目指し、また、今後の本協議会の存続をかけて、夢中で署名活動を行いました。結果、約18万人分の署名を集めることができました。

この集められた署名は、平成26年度に、国土交通大臣へ提出され、平成28年度の交通政策審議会答申で意義のあるプロジェクトとして「小田急多摩線の延伸」が位置付けられました。

Q3 これからも活動に取り組む本協議会へメッセージをお願いします。

⇒ 令和元年5月に、小田急多摩線延伸に関する「調査のまとめ」が市から公表されました。

「調査のまとめ」には、「整備手法：全線一括整備 (唐木田から上溝)、概算建設費：1,300億円、収支採算性：42年」と「整備手法：段階的整備第1期整備区間 (唐木田から相模原)、概算建設費：870億円、収支採算性：26年」の各手法の分析結果が示され、収支採算性の改善を図る必要があることが分かりました。

延伸を実現させるために、私としては「①一部返還地に地震・津波対策が十分な防災センターとJAXAを組み合わせ設置する。②国民の命を守る安全安心のための施設ができた沿線地域に、研究施設、ロボット産業や観光施設等を誘致する。」など、このような取組が必要ではないかと考えます。

一日も早く延伸することを楽しみに、陰ながら応援させていただきます。



会長代行 あいさつ



小田急多摩線延伸促進協議会
会長代行 竹田 幹夫

成川前会長におかれましては、平成14年の設立当初から会長としてご尽力いただき、本協議会の発展のための礎を築き、様々な取組に寄与した功績は誠に多大であり、ここに深く感謝の意を表します。

会長代行として、地域の皆様・市民の皆様と団結し、関係者の皆様のご指導のもと、本協議会の取組を前進させていきたいと決意を新たにしているところです。

小田急多摩線の延伸につきましては、人口減少や高齢化が進行する中においても、都市機能の集積、産業の活性化、交流人口の拡大など持続的な発展のためにも必要な事業であると考えます。

引き続き、小田急多摩線延伸の実現を目指して取り組んでまいりますので、何卒よろしくようお願い申し上げます。

これまでの取組

本協議会は、平成14年の設立から様々な活動に取り組んできました。おかげさまで、今年で20周年を迎えます。引き続き、延伸の実現に向け、活動を行っていきます。

- 平成14年 小田急多摩線延伸促進協議会の設立
- 平成15年～ 延伸ニュースの発行
- 平成16年～ 市民桜まつりへ参加
- 平成17年 米軍基地に係る署名活動の実施
- 平成22年～ さがみはらフェスタへ参加
- 平成24年 小田急多摩線延伸促進シンポジウムの開催
マスコットキャラクター「ロマンくん」の決定
- 平成25年 延伸の早期実現に関する署名活動の実施
- 令和元年度 「ロマンくん」の新たなデザインの作成
- 令和2年度 町田市、相模原市、小田急電鉄株式会社を招いての「勉強会」の開催



令和2年度 活動報告

小田急多摩線延伸に向けた「勉強会」を開催しました

令和3年3月、本協議会と町田市の「町田小山小田急多摩線延伸促進協議会」、「小田急線延伸を促進させ最寄り駅を誘致する会」、「小田急多摩線小山田駅早期実現協議会」、愛川町の「愛川小田急多摩線延伸促進協議会」及び本市の「田名地区公共交通整備促進協議会」、「小田急多摩線延伸・上溝駅開設推進協議会」の合計7団体と、相模原市、町田市、小田急電鉄株式会社を招き、小田急多摩線延伸に向けた取組について「勉強会」を開催いたしました。

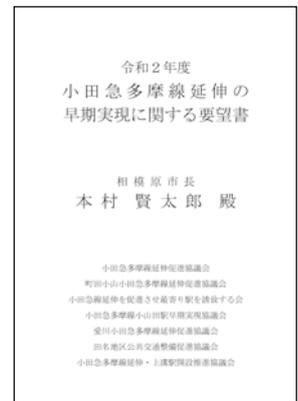
各団体からは、課題に向けて活発な意見が出されました。



要望活動を実施しました

小田急多摩線の延伸を促進する住民団体（7団体）で、神奈川県、相模原市、町田市、小田急電鉄株式会社に対して「小田急多摩線延伸の早期実現」に関する要望を行いました。

延伸線沿線地域の更なる魅力の向上や延伸に資するまちづくりに向けた取組など、上溝までの全線一括整備による延伸の早期実現に向けた地域の声を届けました。



小田急多摩線延伸促進協議会構成団体

(31団体)

相模原市自治会連合会、各地区自治会連合会（小山、清新、横山、中央、星が丘、光が丘、大野北、大沢、田名、上溝）、相模原商工会議所、相模原市商店連合会、相模原中央商店街協同組合、相模原西商店街協同組合、相模原東商店会、さがみ夢大通り商店会、西門商店街、南橋本商栄会、矢部商工みどり会、上溝商店街振興組合、田名商工連盟、高校通り商栄会、水郷田名観光協会、田名財産管理委員会、田名地区公共交通整備促進協議会、小田急多摩線延伸・上溝駅開設推進協議会、相模原青年会議所、相模原市農業協同組合、東京地方税理士会相模原支部、神奈川県社会保険労務士会相模原支部

【小田急多摩線延伸促進協議会の取組】

多摩線延伸協議会

検索



<https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/shisei/toshikotsu/1004835/1004842/1004844.html>